

# 2023年3月期第2四半期 決算説明会資料

2022年11月22日

証券コード：5162

# サマリー

- 2023年3月期第2四半期は、減収減益となった。半導体供給不足の影響などを受けて、ASA COLOR LEDやスイッチ用ラバーなどの自動車向けゴム製品の受注が減少したが、卓球ラケット用ラバーの受注が好調に推移、また医療用ゴム製品の回復が鮮明になり、RFIDタグ用ゴム製品の受注が回復してきている。
- 今後について、好調な事業、製品の傾向は変わらず、半導体不足やグローバルでの部品調達不足による、自動車市場の回復状況が不透明なため、通期予測は変更しない。
- 第2四半期の業績状況を踏まえ、中間配当は10円とする。期末配当も当初予定通り普通配当10円を予定。

# 2023年3月期第2四半期決算説明資料 目次

## I. 2023年3月期第2四半期決算実績

1. 連結決算実績（前年同期比）	.....3
2. 連結設備投資実績	.....4
3. 中期事業分野別実績	.....5
4. 主要製品実績	.....6~9
5. 連結子会社の損益実績	.....10
6. 連結貸借対照表の状況	.....11

## II. 2023年3月期通期見通し

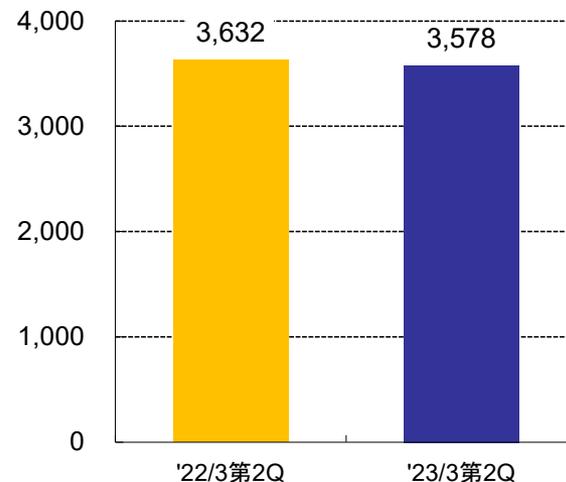
1. 経営方針・経営戦略	.....12
2. 連結決算見通し（前期比）	.....13
3. 連結決算見通し（上期下期比較）	....14
4. 中期事業分野別見通し	.....15
5. 主要製品の通期売上見通し	.....16
6. 活動実績	.....17
7. 連結設備投資計画	.....18
8. 配当計画	.....19

# I-1. 連結第2四半期決算実績（前年同期比）

（単位：百万円、％）

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	3,632	100.0	3,578	100.0	▲1.5
売上総利益	865	23.8	885	24.8	2.4
営業損益	176	4.8	135	3.8	▲23.2
経常損益	178	4.9	143	4.0	▲19.2
四半期純利益	135	3.7	112	3.2	▲16.8

（単位：百万円） 連結売上高実績

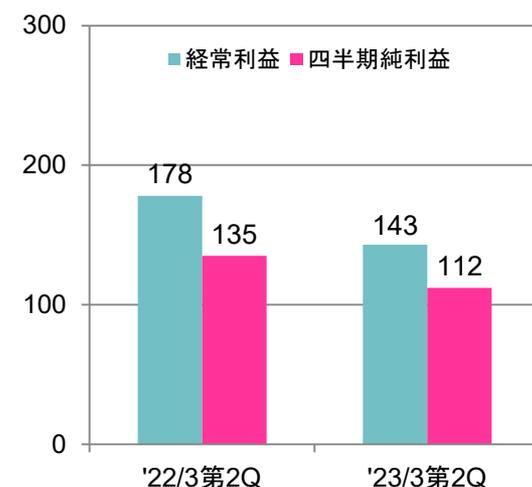


- 自動車向けゴム製品の受注が低下し、減収減益となった。
- ドル建て取引が少ないため、円安の影響はほとんど受けていない。

（単位：百万円、％）

セグメント別	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
工業用ゴム事業	3,040	83.7	2,883	80.6	▲5.2
医療・衛生用ゴム事業	591	16.3	695	19.4	17.5
売上高	3,632	100.0	3,578	100.0	▲1.5

（単位：百万円） 連結損益実績



# I-2. 連結設備投資実績

設備投資額 87百万円

減価償却費 203百万円

## 事業分野別設備投資内訳 (単位：百万円)

光学事業	11	ASA COLOR LEDの生産設備など
医療・ライフサイエンス事業	47	回路製品の生産設備など
機能事業	17	自動車向けゴム製品生産設備など
その他	12	

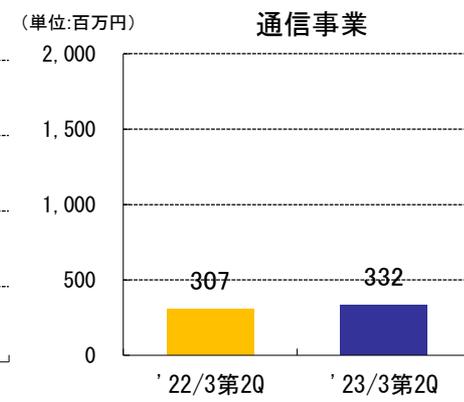
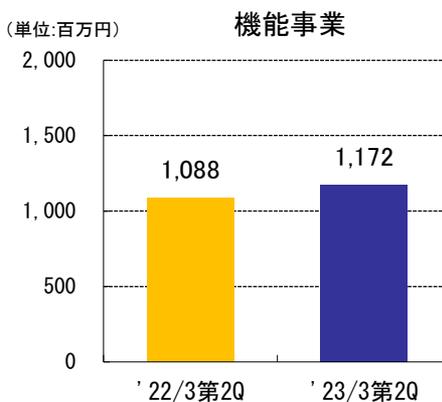
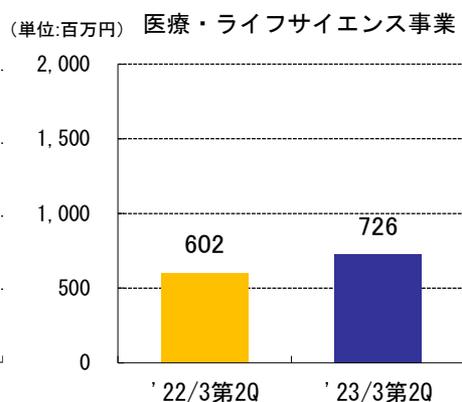
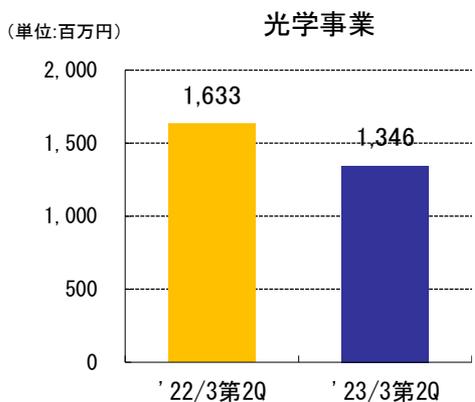
## 法人・分野別設備投資内訳

朝日ラバー	81百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠製品	3百万円	機能事業
朝日 F R 研究所	3百万円	医療・ライフサイエンス事業

# I-3. 中期事業分野別実績

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
光学事業	1,633	45.0	1,346	37.6	▲17.6
医療・ライフサイエンス事業	602	16.6	726	20.3	20.5
機能事業	1,088	30.0	1,172	32.8	7.7
通信事業	307	8.4	332	9.3	8.3
売上高合計	3,632	100.0	3,578	100.0	▲1.5



●ASA COLOR LEDの受注が中国のロックダウンや半導体不足などの影響により大幅に減少。

●医療用ゴム製品の一部製品で在庫調整が緩和され、受注が回復。

●自動車スイッチ用ラバーの受注が伸び悩みが卓球ラケット用ラバーの受注が大きく増加。

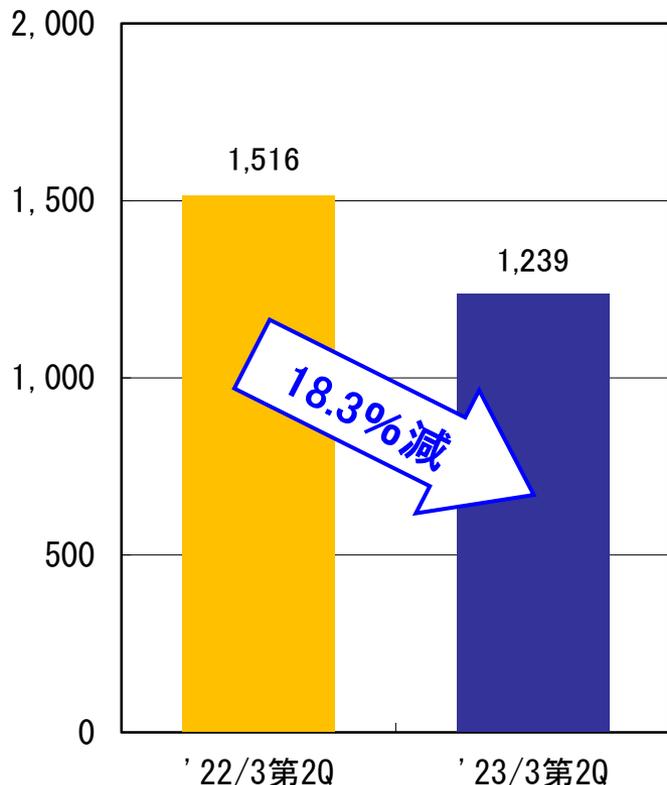
●RFIDタグ用ゴム製品の受注が北米市場の回復傾向を受けて増加。

# I -4. 主要製品実績 – ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

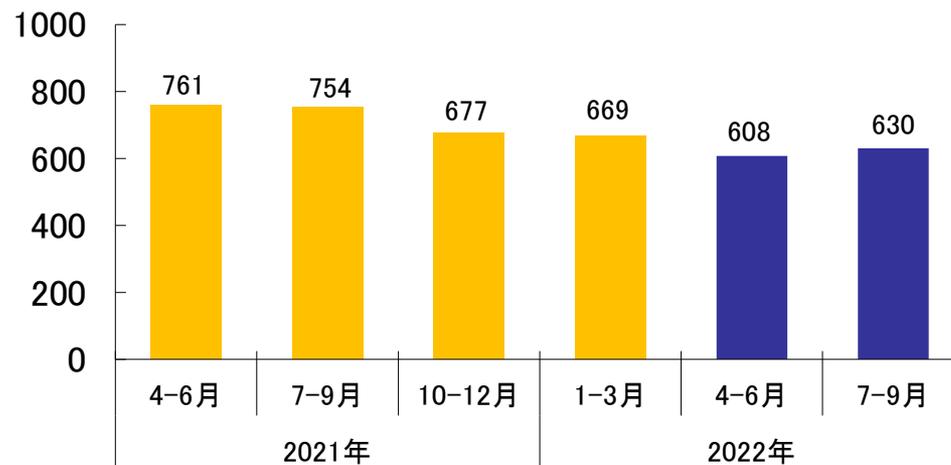


## ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。



(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



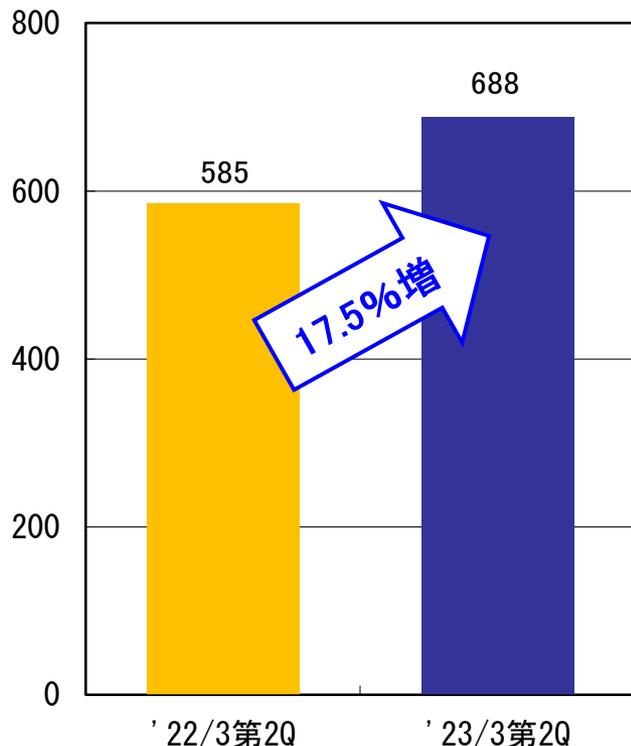
● 中国のロックダウンや半導体不足などの影響により、受注が減少傾向。

# I-4. 主要製品実績－医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



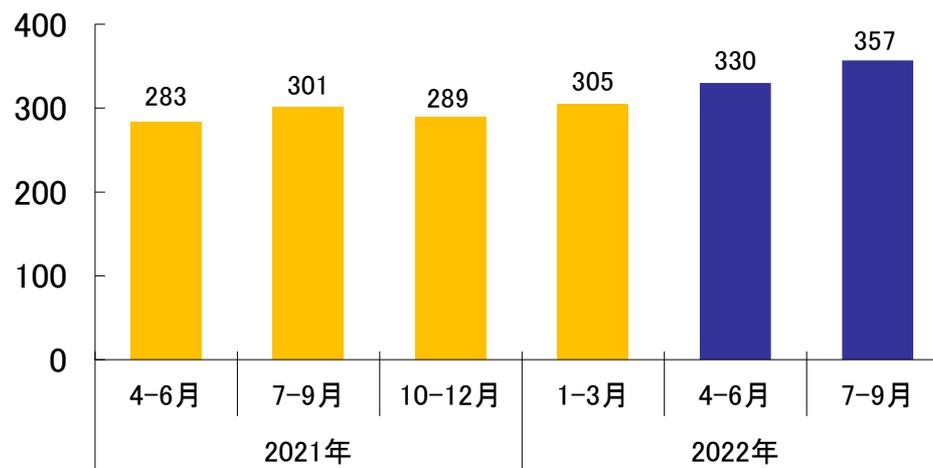
## ディスポーザブル用ゴム製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用  
ガスケット、採血用・薬液混注用ゴム栓など、使  
い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。



四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



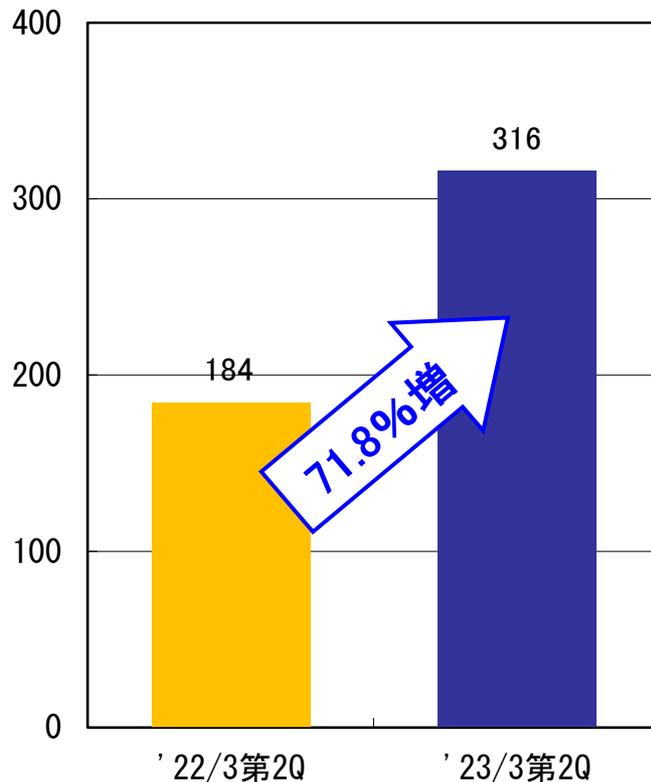
- 一部製品の在庫調整が終息し始め、売上高の回復傾向が鮮明となり、四半期では過去最高の売上高となる。

# I-4. 主要製品実績 – スポーツ用ゴム製品

工業用ゴム事業

機能事業

(単位: 百万円) 連結売上高推移



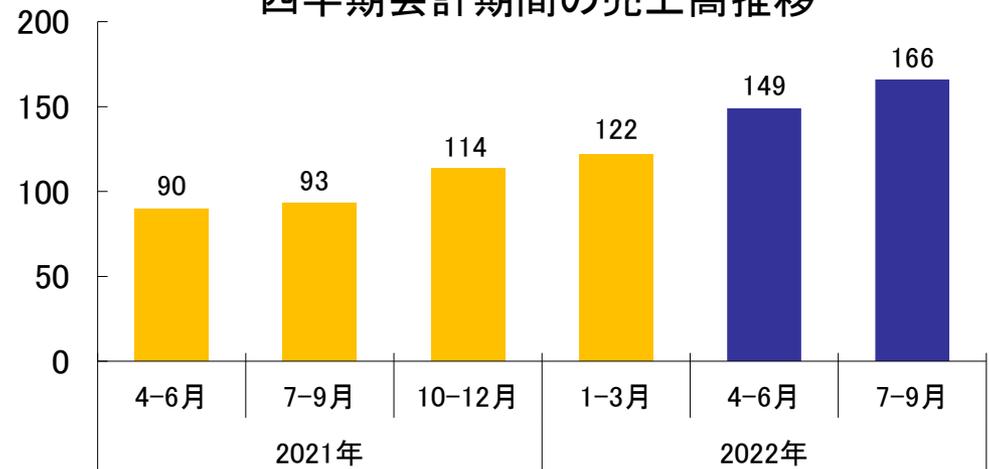
## 卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位: 百万円)

四半期会計期間の売上高推移



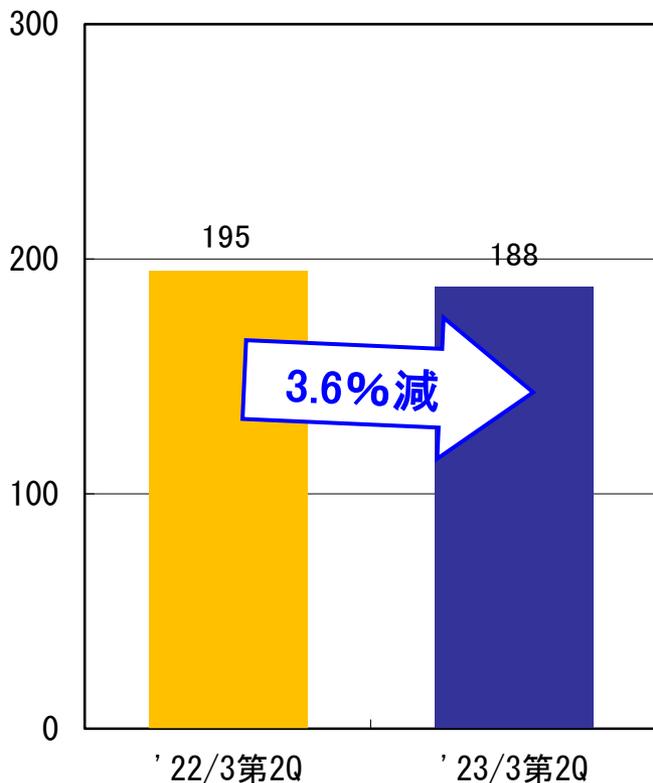
- 競技再開と円安による顧客の海外市場での競争優位性向上から受注が増加、四半期では過去最高の売上高となる。

# I-4. 主要製品実績 – RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

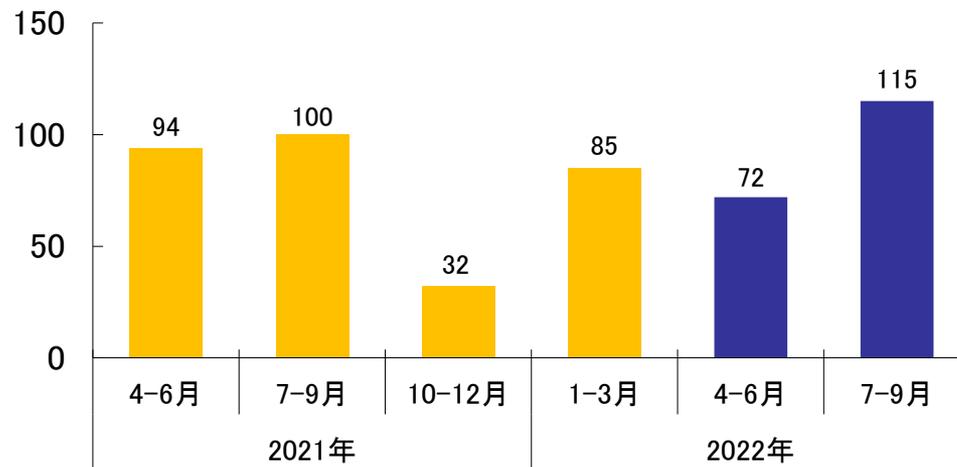
(単位:百万円) 連結売上高推移



- 溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



- 最終ユーザーの北米市場において、7月以降、市場回復の傾向から受注が回復傾向となる。

# I-5. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日FR研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチックに関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	86,100	前年同期増減率	53,975	前年同期増減率
		4.0%		▲11.4%
経常損益	966	-	▲4,818	-
四半期純損益	603	-	▲3,821	-

円換算レート：1米ドル124.54円

	朝日橡膠(香港)有限公司		東莞朝日精密橡膠制品有限公司		朝日科技(上海)有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発・設計・販売	
売上高	141,953	前年同期増減率	410,311	前年同期増減率	155,527	前年同期増減率
		▲23.5%		▲0.9%		▲13.1%
経常損益	▲15,873	-	8,756	▲31.1%	23,598	▲5.7%
四半期純損益	▲15,873	-	7,792	▲38.7%	22,897	▲3.7%

円換算レート：1香港ドル15.91円

円換算レート：1人民元19.14円

円換算レート：1人民元19.14円

# I-6. 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

	2022年 3月末残高	2022年 9月末残高	差	主な変動理由
流動資産	5,377	5,654	+277	受取手形及び売掛金 +161百万円 棚卸資産 +52百万円
固定資産	4,342	4,273	▲68	機械装置及び運搬具 ▲63百万円
資産合計	9,720	9,928	+208	
流動負債	2,526	2,518	▲7	支払手形及び買掛金 ▲40百万円 その他 +127百万円
固定負債	2,517	2,558	+41	長期借入金 +23百万円
負債合計	5,043	5,077	+33	
純資産合計	4,676	4,850	+174	利益剰余金 +67百万円 為替換算調整勘定 +111百万円
負債純資産合計	9,720	9,928	+208	

● 受注回復に伴い、受取手形及び売掛金と棚卸資産が増加。

# Ⅱ-1. 2023年3月期 経営方針・経営戦略

## 経営方針

**みんなにうれしさをお届けしよう**

## 経営戦略

**魅力を高めて出口をつかむ**

**ーデザイン思考で創造的解決を実践するー**

## スローガン

**“動”**

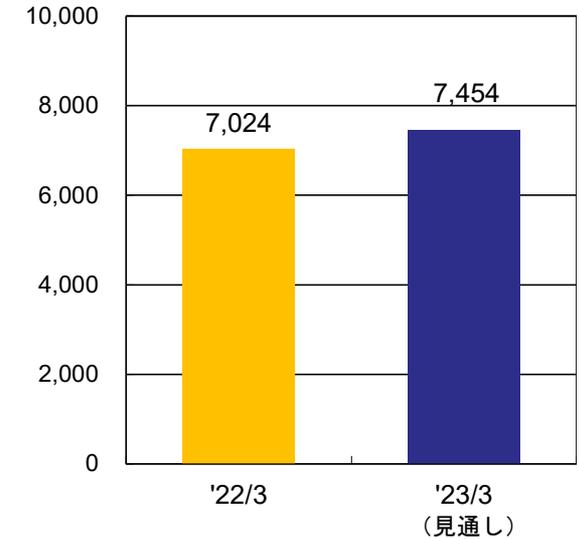
# II-2. 2023年3月期連結決算見通し（前期比）

（単位：百万円、％）

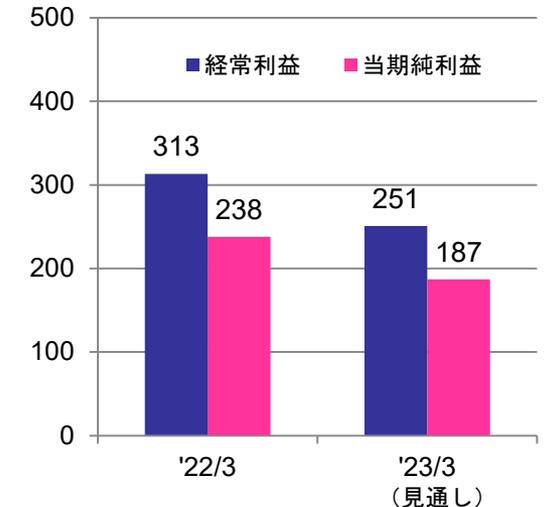
	2022年3月期		2023年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1
売上総利益	1,691	24.1	1,781	23.9	5.3
営業利益	291	4.1	255	3.4	▲12.5
経常利益	313	4.5	251	3.4	▲19.8
当期純利益	238	3.4	187	2.5	▲21.6

- 市場回復傾向から増収見込み。
- ウィズコロナ環境での活動を広げることから販管費が増加予定。

（単位：百万円） 連結売上高見通し



（単位：百万円） 連結利益見通し



（単位：百万円、％）

セグメント別	2022年3月期		2023年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	5,830	83.0	6,180	82.9	6.0
医療・衛生用ゴム事業	1,193	17.0	1,274	17.1	6.7
売上高	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1

## Ⅱ-3. 2023年3月期連結決算見通し（上期下期比較）

（単位：百万円、％）

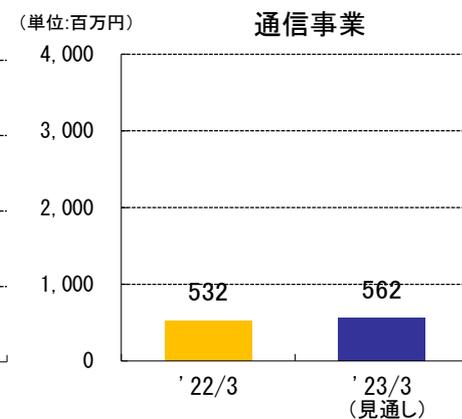
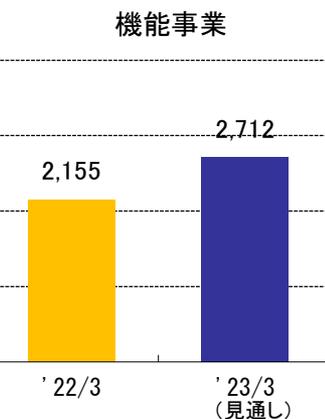
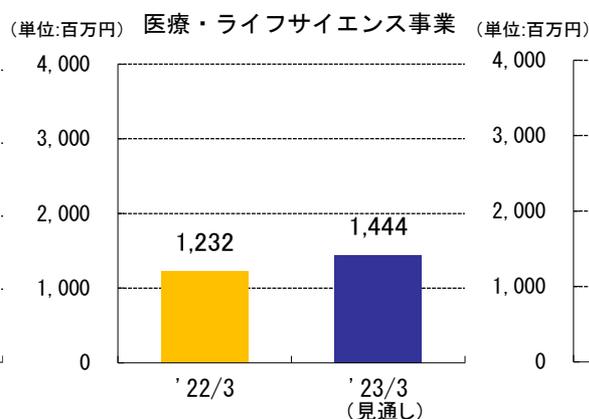
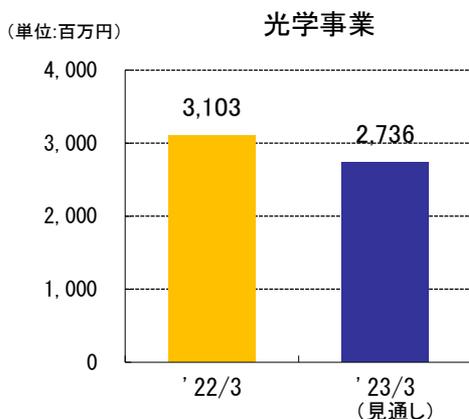
	上期実績 (2022年4月～9月)			下期見通し (2022年10月～2023年3月)			通期見通し (2022年4月～2023年3月)		
	実績	構成比	前年同期 増減率	見通し	構成比	前年同期 増減率	見通し	構成比	前期 増減率
売上高	3,578	100.0	▲1.5	3,875	100.0	14.2	7,454	100.0	6.1
売上総利益	885	24.8	2.4	895	23.1	8.4	1,781	23.9	5.3
営業利益	135	3.8	▲23.2	119	3.1	3.9	255	3.4	▲12.5
経常利益	143	4.0	▲19.2	107	2.8	▲20.6	251	3.4	▲19.8
純利益	112	3.2	▲16.8	74	1.9	▲27.9	187	2.5	▲21.6

- 下期はウィズコロナ環境での経済活動が広がる見通しや、新規受注予測もあり、業績が回復する見通し。
- 材料価格高騰は販売価格への転嫁交渉がほぼ終了するも、さらなる値上げの情報もあるため、原価低減活動と併せて交渉を進める。
- 下期は材料価格や電力料の高騰によるコスト増が影響。
- ロシア・ウクライナ情勢は、当社事業に直接の影響はないものの、長期化するとエネルギーコストなど様々な方面で影響を受ける可能性がある。

# II-4. 中期事業分野別見通し

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2022年3月期		2023年3月期		前期増減率
	実績	構成比	見通し	構成比	
光学事業	3,103	44.2	2,736	36.7	▲11.8
医療・ライフサイエンス事業	1,232	17.6	1,444	19.3	17.2
機能事業	2,155	30.7	2,712	36.3	25.8
通信事業	532	7.6	562	7.5	5.6
売上高合計	7,024	100.0	7,454	100.0	6.1



●ASA COLOR LEDの受注減は第4四半期まで継続見通し。

●医療用ゴム製品の在庫調整が回復。

●卓球ラケット用ラバーの受注が好調で新製品も量産開始。自動車向けスイッチ製品も回復傾向。

●RFIDタグ用ゴム製品の受注が回復傾向。

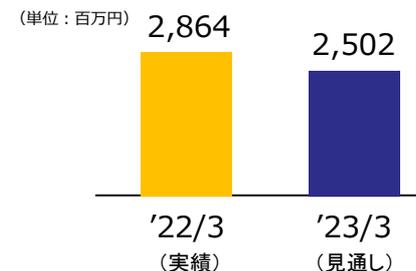
# II-5. 主要製品の通期売上見通し

## ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

- ・第3四半期まで自動車市場の影響を受け、受注減の見通し。
- ・市場では車種ごと、地域ごとにばらつきがあり、第4四半期の見通しは不透明。

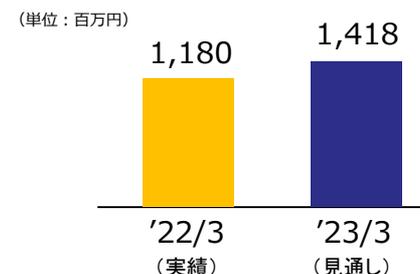


## 医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

- ・一部の用途の製品の在庫調整が解消し、受注が増加・回復。
- ・逆止弁の新規製品の市場投入を急ぐ。

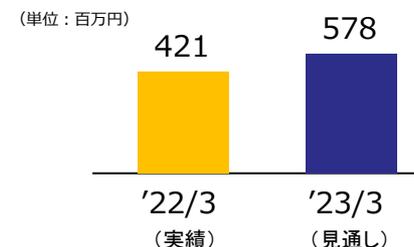


## 卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

- ・市場の需要回復により、さらに受注が拡大する見通し。
- ・既存製品の受注増と年後半からの新製品の生産スタートで売上高増加の見込み。

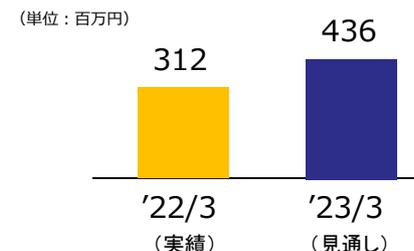


## RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

- ・北米市場の回復により受注は回復傾向。



## Ⅱ-6. 活動実績－白河第二工場でISO13485認証取得

2022年7月、白河第二工場でISO13485の認証を取得。医療業界のものづくり環境と品質管理体制を構築していることを認識していただき、対象製品のARチェックバルブの国内・海外への拡販活動を進める。また、ゴム単品ではなく樹脂などと組み合わせた医療機器の開発を進めていく。



白河第二工場



### ARチェックバルブ

医療機器の回路や、ライフサイエンス関連機器や器具に組み込まれ、液体・気体の逆流を防止するバルブ(弁)。

血液ろ過透析の透析回路における補液回路の逆止弁として採用されている。



ARチェックバルブ

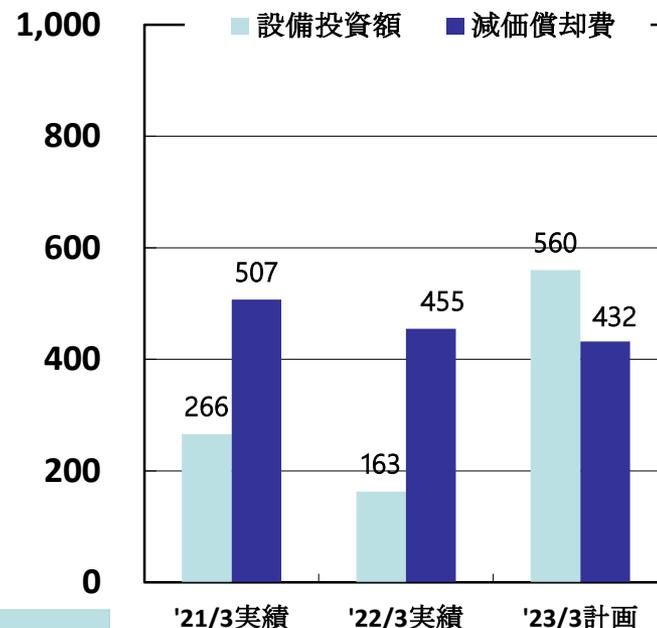
ISO13485は、医療機器の安全性と品質の維持をねらいとした国際規格で、医療機器や部品を決められた適正な仕組みで、設計・製造・監視・改善していることが要求される。

# II-7. 2023年3月期連結設備投資計画

設備投資額 約560百万円  
減価償却費 432百万円

事業分野別設備投資内訳	
光学事業	145百万円
医療・ライフサイエンス事業	175百万円
機能事業	180百万円
通信事業	35百万円
その他	25百万円

(単位:百万円)



## 法人・分野別設備投資内訳

朝日ラバー	545百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠製品	10百万円	機能事業
朝日 F R 研究所	5百万円	医療・ライフサイエンス事業

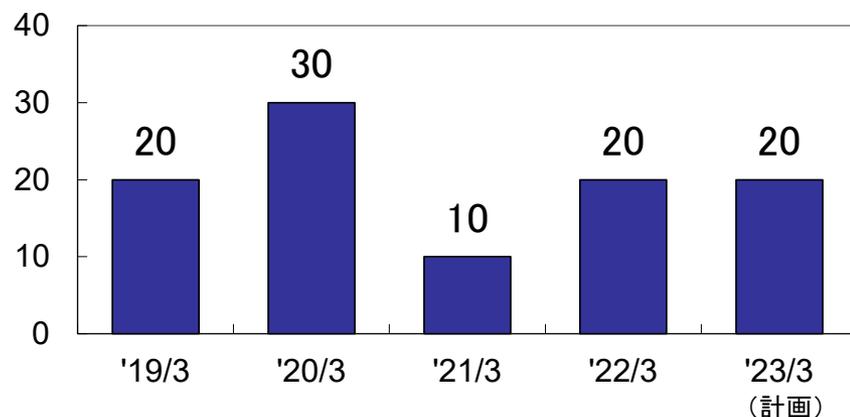
- 機能事業の自動車向けゴム製品と卓球ラケット用ラバーの受注増、また医療用ゴム製品の受注増に対応するため、当初計画（約350百万円）より増額して投資する。

## Ⅱ-8. 2023年3月期配当計画

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
中間配当	—	10円	10円 (予定)
期末配当	10円	10円	10円 (計画)
年間	10円	20円	20円 (計画)

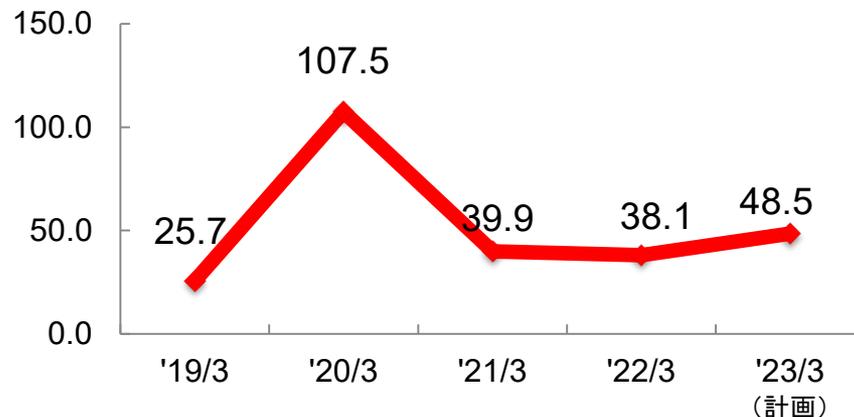
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移



- 業績が安定していることから、中間配当、期末配当とも一株当たり10円を計画。

# お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先  
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部  
TEL 048-650-6056